



HAGIWARA TIMES

室蘭港祝津絵鞆地区-11m岸壁改良工事

2025.9

VOL.

100



●着工前 令和6年10月26日撮影



●上部コンクリート工施工状況 令和7年7月29日撮影

室蘭港祝津絵鞆地区-11m岸壁改良工事



●大型クルーズ船 令和6年10月10日撮影



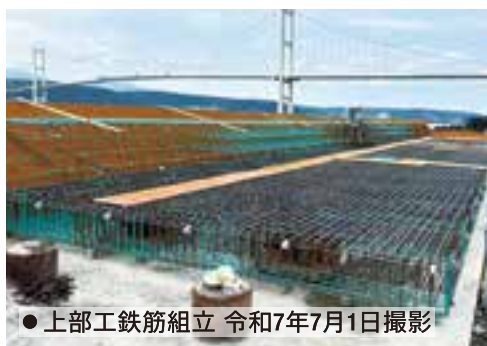
●既設構造物取壊し 令和6年11月28日撮影



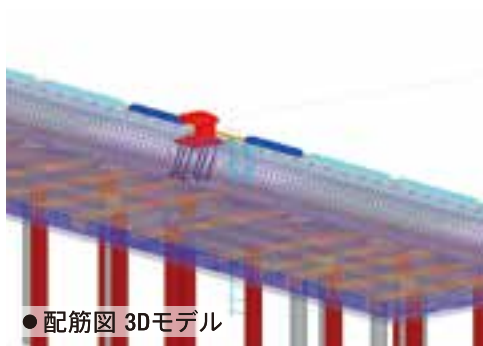
●鋼管杭打設 令和7年3月12日撮影



●基礎栗石投入 令和7年4月5日撮影



●上部工鉄筋組立 令和7年7月1日撮影



●配筋図 3Dモデル

● 施工場所：室蘭市祝津町

● 発注者：北海道開発局 室蘭開発建設部

● 施工業者：萩原建設工業株式会社

● 施工期間：令和6年9月6日～令和7年10月29日

● 進捗率：81.6%(7月末現在)

土木

室蘭港は北海道内浦湾の東端に位置し、明治5年の開港以来、海陸交通の要衝として道央地域の産業基盤を支える重要な役割を果たしてきました。令和4年には開港150年を迎え、同年5月には22万トン級クルーズ船の受け入れが可能な祝津絵鞆地区クルーズ船等受入岸壁が暫定供用されています。本工事は、室蘭港祝津地区において、老朽化した施設の機能回復に加え、荷役作業の安全性向上および大型クルーズ船の係留に対応するため、水深-11m岸壁の改良を行うものです。上部コンクリート工の施工にあたっては、設計図だけでは把握が難しい鉄筋と防舷材や車止めのアンカーとの干渉を3次元モデル上で可視化することで、正確なイメージの共有が可能となりました。これにより現場や施工状況への理解が深まり、関係者間の協議や打ち合わせの時間短縮にもつながりました。

昨年10月の着手以来、4月下旬までは強烈な北西風に度々悩まされましたが、関係各位のご協力のもと、工事はほぼ計画通りに進捗しています。今後も気象情報の把握に十分留意し、無事故・無災害での完工を目指してまいります。

現場代理人・監理技術者：遠藤 暢／担当技術者：柴田 京辰、塩谷 新太



100号、ありがとう！

もっと、身近な
萩原建設工業を目指して。

皆さま、いつも「HAGIWARA TIMES」をご覧いただき、誠にありがとうございます。
おかげさまで本紙は記念すべき『Vol.100』を迎えました！



平成29年6月にVol.01を発行してから、毎月休まず発行を続けて「8年と3か月」。創刊当初は、訪問営業時のコミュニケーションツールとしてスタート。以来、土木・建築の現場紹介や社内のできごとなど、萩原建設工業の“今”をお届けしてきました。



●“Vol.1の現場紹介”社員の顔が目立ってます！



●TOPICSからは、いろんな歴史が見えます！

実は現場の紹介ページは、現場で働く社員が文章を考え、写真の撮影もしています。さらに、写真撮影が得意な社員による表紙写真も毎号、大好評！
ときには新入社員の紹介や特集記事なども交えて、普段は見えにくい「萩原建設工業の一面」を感じていただけるよう紙面を作成してきました。

そして、令和6年10月号 (Vol.89) からは、ラジオ放送もスタート！
毎月第2火曜日、「紙面に登場する人」が“声”で現場の裏側をお届けしています。

これからも「HAGIWARA TIMES」は、社内外の皆さま、そして地域の皆さまと一緒に歩み、つながっていく広報誌でありたいと思っています。

「こんな記事が読みたい」「現場のこんなことを知りたい」そんな声があれば、ぜひお気軽にお声がけください。そのひとことが、次号のTOPICSを飾るかもしれません。

これからも変わらぬご愛読を、どうぞよろしくお願いいたします！



●100冊分の厚さは「5.6cm」クレジットカードの短辺の長さと同じくらい！

令和7年度 北海道開発局優良工事等表彰式にて、『3つの現場』がそれぞれ表彰を受け、“工事成績優秀企業”にも認定され、私たちの技術と現場のチームワークを高く評価いただきました。



【北海道開発局長表彰】

～北海道横断自動車道 陸別町 日宗北道路改良工事
衛星回線を活用したネットワーク整備や、AIでのダンプ運行管理、VRを使った安全教育の導入など、最新技術を積極的に取り入れたチャレンジが評価され、局長表彰を頂きました。

▶受賞者：奥村より

「若手の現場代理人・担当技術者、年配の監理技術者が協力して現場管理を行い、新しいことに挑戦した結果、頂けた賞だと思っています。この現場に関わってくださったすべての方への感謝とともに、またこの賞を頂けるよう、邁進いたします」



【帯広開発建設部長表彰】

～十勝川改修工事の内 川西築堤堤防保護工事
この現場では、自社開発のAI・RPAを使用した資材管理システムを導入し、効率化とi-Construction2.0への取り組みが評価され、部長表彰を頂きました。

▶受賞者：大籠より

「現場を支えてくれた担当メンバーや支援チーム、協力会社の皆さんのおかげで、無事にやり遂げることができました。心から感謝しています。今回の現場では新しいチャレンジに取り組みましたが、これからも現場で“本当に役立つ技術”をどう活用していくか、考えながら、より良いものづくりに挑戦していきたいと思います！」



【釧路開発建設部長表彰】

～十勝港外1港航路・泊地浚渫工事
航路埋没による施工時期の変更・施工期間の制限といった厳しい条件下で、波や風の状況を予測できるサイトの活用、AIによる土量管理などの創意工夫。さらに、安全教育や災害対策には、新技術を積極的に取り入れ、無事故で完工した点を高く評価いただきました。

▶受賞者：佐々木より

「このような栄誉ある賞を受賞できたのは、現場に携わっていただいた現場職員、指導いただいた上司および多大なご協力を賜りました協力業者関係者の方々のおかげです。これまで以上に仕事に尽力してまいりますので今後ともよろしくお願いいたします」

今回の表彰は、現場に関わるすべての人たちの努力と工夫が形になったもの。
これからも、技術と信頼で、地域に必要とされるものづくりを進めていきます！

 今月の表紙
撮影：営業部 仁藤 正憲

創刊号以来、表紙の写真は私が担当してまいりました。当初私は建築部員でしたが、2019年1月に営業部へ異動した19号からは営業部員として直接多くの方々に本誌をお届けしてきました。表紙の写真を楽しみにしてくださる方も多く、おかげさまで100号を迎えることができ、大変感慨深く思っております。これからも表紙写真を通じて、十勝の四季を皆さまに楽しんでいただければ幸いです。

